

◆ 開催者募集 ◆

世界のバリアフリー児童図書展

—— IBBY 選定バリアフリー児童図書 2021 ——

主催：日本国際児童図書評議会（JBBY）

企画：国際児童図書評議会（IBBY）

JBBY 世界のバリアフリー児童図書展実行委員会

IBBY（国際児童図書評議会）は、すべての子どもたちが読書のたのしみを享受できるように、障害のある子どもたちの読書にも取り組んでいます。IBBY に加盟する国と地域が協力し、世界中から、障害のある子どもや若者のための特別な配慮のある本、障害のある子どもや人物について描かれた本、多様な読者に対応できる誰にでもわかりやすい絵本など、工夫のつまった本を見出します。IBBY のこのプロジェクトは 1981 年の国連国際障害者年を機にはじまり、バリアのない児童書が社会に認知され、より多く刊行されることを目的にしています。

IBBY の日本支部である JBBY（日本国際児童図書評議会）は、2003 年から「世界のバリアフリー絵本展」を巡回し、IBBY が隔年で選定する各国の優れたバリアフリー図書を紹介してきました。2018 年に名称を「世界のバリアフリー児童図書展」と改めました。

私たちは、図書展を通じて、配慮のある本を必要としている子どもたちが社会に大勢いること、これらの本が障害のある子どもたちの読書に新たな可能性を秘めていること、世界の知恵と工夫がバリアのない社会を生み出していくことを知っていただきたいと思っています。そして、こうした本の制作や出版がますます盛んになって、どんな子どもたちも平等に本を通じた社会参加ができることを願っています。

2021 年は、26 カ国の 40 冊が選定されました。コロナ禍での選考作業は困難もありましたが、電子データやリモートを取り入れたことで、逆に応募国の増加をもたらし、はじめてスリランカの本がコレクションに加わりました。

選定図書は、3 つのカテゴリーに分類してあります。(1) Specialized Formats（仕様に特別な配慮がある本）、(2) Universal Access（誰にでも分かりやすく、学習障害、知的障害、発達障害などの子どももたのしめる絵本）、(3) Portrayals of Disability（障害について描かれている本）です。日本からは、『こくん』（村中李衣作・石川えりこ絵／童心社）と『ころりん・ぱ!』（ひらぎみつえ作／ほるぷ出版）の 2 冊が選ばれました。

JBBY は、2022 年 5 月から始まる「世界のバリアフリー児童図書展」の開催者を募集します。

【募集要項】

- ◎ 対 象 小・中・高校・大学、図書館、または展示会場を用意できる団体
- ◎ 期 間 2022年4月から2023年3月末の間で、可能な期間（原則2週間）
- ◎ 展示内容（予定）

2021年のIBBY選定バリアフリー図書	40冊	邦訳版がある場合は添付 （2022年3月現在2冊）
上記図書の解説パネル（B5サイズ）	40枚	点字、i-Penを使った音声案内つき
バリアフリー図書の 카테고리、種類に関する解説パネル（B4サイズ）	8枚	i-Penを使った音声案内付き
展示作品カタログ （英語版、日本語版、点字版）	各2点	
i-Pen 本体と充電器 （変更の可能性あり）	各1	パネルに触れると音声が出る補助機器

◎ 開催条件

- *貸出期間 1会場2週間を原則とする
- *貸出費用 企画手数料 1会場につき40,000円+消費税
送料実費（往復約10,000~15,000円程度。※発送地域による）
- *その他 展示にかかる費用は開催者負担です。
- *本の管理し、安心して本を楽しめる環境を整えるため、
会場には随時、見守りスタッフを付けてください。
- ・少数出版のため再入手困難な本や、パーツがはずせる本、壊れやすい本があります。
 - ・本のパーツはまれに誤飲の危険があります。
 - ・『ころりん・ぱ!』は、溝のへりなどで手を切る事故が報告されています。

- ◎ その他 開催者独自の企画を付け加えていただいても構いません。

●問合せ先・申込み先

JBBY事務局

〒101-0051 千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル5階 JBBY事務局

TEL: 03-6273-7703 FAX: 03-6273-7708 honten@jbby.org